

盲導犬事業に関する問い合わせ先

公益財団法人 北海道盲導犬協会

所在地 南区南30条西8丁目1番1号
 電話番号 582-8222 (FAX582-7715)
 交通手段 じょうてつバス (南4・南54・南55・南64番)「南29条西11丁目」で下車
 徒歩5分

ホームページ <http://www.h-guidedog.org/>



北海道盲導犬協会での 訓練開始

訓練犬は、秋から春までの約7カ月間にわたり、協会の訓練士から訓練を受け、盲導犬になるために必要な作業を習得していきます。

訓練では、道を真っすぐ歩くことや、交差点で止まること、障害物をよけること、目的物を探して案内することなどの動作を繰り返し行い、訓練犬に覚えさせます。

訓練の基本は「よく褒める」ことです。仕事を教えながら褒めることで、楽しみながら仕事を覚えていきます。

訓練犬にとって特に難しい訓練が「不服従の服従」と呼ばれる訓練です。

これは、主人の指示に従うと危険であると判断した場合には、指示に従わないことを覚えさせる訓練です。

7カ月間の訓練により、必要な作業を覚えた訓練犬は、最後の仕上げとして、アイマスクを着けて視覚を失った状態の訓練士を安全に誘導できるかテストします。無事に訓練士を誘導できれば、盲導犬になるための準備は完了です。

盲導犬ユーザーとの マッチング

盲導犬になるための訓練を終えた訓練犬は、主人となる盲導犬希望者との共同訓練を経て、一人前の盲導犬として社会へ出ることが出来ます。

盲導犬の貸与にあたっては、盲導犬の希望者と指導員が面談し、生活環境や健康状態などを聞き、その内容を基に希望者にふさわしい盲導犬を貸与します。盲導犬の貸与が決まったユーザーは、協会施設に泊まり込みで盲導犬との共同訓練を行います。この訓練では、盲導犬との歩行訓練はもちろんのこと、犬と生活するために必要な知識を学ぶほか、犬の管理全般を自分で行い、盲導犬とより良い信頼関係を築いていきます。

共同訓練を終えると、無事に盲導犬協会を卒業し、盲導犬ユーザーとともに社会の一員としての活躍が始まります。

街で仕事中の盲導犬に出会ったとき

ハーネス（白い胴輪）を着けている時は仕事のため、なでたり呼び掛けたりして盲導犬の気を引かないでください。



健康維持のため、食べる時間や量を決めて食事を与えていますので、食べ物を与えないでください。



盲導犬ユーザーが道に迷ったり、困っているときは、盲導犬ではなくユーザーへ話しかけてください。



盲導犬は社会の一員として迷惑をかけないようにしつけられています。乗り物やお店、ホテルなどの、盲導犬を伴ったユーザーの施設利用にご協力をお願いします。



訓練士からの一言



盲導犬は一頭ずつ性格が違うので、犬に合わせた分かりやすい訓練をするよう心掛けています。盲導犬は訓練が終わると訓練士の元を離れて盲導犬ユーザーに預けられるので、環境が変わっても盲導犬の仕事に前向きに取り組めるよう、日頃から楽しく訓練をしています。



訓練士の加藤淳一さんとオスパーくん